

パッと伝わる広報誌へチャレンジ!

議会広報モニター決まる

3月に申込書を全戸配布し公募した議会広報モニターが決定しました。
年齢は20歳代から60歳代まで各年代1人、合計5人で任期は令和7年5月から令和8年3月です。
議会広報モニターの意見を参考に、これからも町民の皆様にも親しまれる広報誌を目指します。

読みやすい広報誌になる
ように微力ながら協力し
ていきたいです



たかせ こうだい
高瀬 弘大氏
(南町)

微力ながら町のお役に立てれば幸いです



あらせ りえ
荒瀬 理絵氏
(北町)

和寒町へ感謝の気持ちを込めて、お役に立てますように



さいとう ともえ
齋藤 友絵氏
(日ノ出)

モニターの疑問に答えます!

①自治会対抗のスポーツイベント

Q 町民運動会が無くなり、新たに自治会間の交流があれば教えてほしい。

A 自治会対抗のポッチャ大会やパークゴルフ大会があり、ポッチャの方が大人から子どもまで参加者は多い。



▲来年も実施予定なので、ぜひ参加を

議会活動に対する理解を深め、議会だより誌面の充実に寄与出来たら



まつもと まなぶ
松本 学氏
(西町)

町民のみなさんが見たくなる誌面づくりに協力します



いしがみ あつこ
石上 厚子氏
(南町)

119号のモニターアンケート回答の詳細はこちらから





▲基幹産業である農業を体験する小学生

Q 高齢者施設への関係が薄いと、なかなか興味を持ってない方もいると思う。
 以前、保育所の懇談会で役場職員から「子どもの放課後の居場所などになり得る」という話を聞き、自分にも関係のある話だと知ったが、その場にはないと情報を得ることができないようだ。
 どんな意図があって子どもたちに寄り添った施設にするのか、ということを広報したら、説明会に参加できない方にも関心を持ってもらえるかも。

モニターの疑問に答えます！

②ふくしのまちづくり

Q 高齢者施設が子どもの居場所に？

A 子どもが大切にされる機能構築へ

子どもに寄り添った施設

A ふくしのまちづくりラボのアンケートによると、町民が推進したい項目で子どもに関する事業が最上位でした。

子どもの現状とその意見を基に機能の構築を進めています。

機能の構築（一部抜粋）

- ・ 特養の共有スペースに子どもの居場所。
- ・ 障がい児や生活困窮世帯等の子どもへの専門職のアプローチ。
- ・ 不登校児の第3の居場所。
- ・ 図書館など既存施設を活用し子どもの学習や居場所の支援。
- ・ 子育て世帯が子どもを預け、落ち着いて過ごせる場所。
- ・ 農作業場、創作活動場と、保育所や学校教育をつなぐ遊びや体験の機能。

Check!
 ふくしのまちづくり関連
 こちらからご覧ください



Topic 議会

中原議長 議員在職25年表彰



○議長コメント
 この度、荣誉ある賞を賜わったのは理解ある町民皆様のお陰です。今後とも、本町の発展・住民福祉の向上に努めてまいります。

中原浩一議長は平成15年に初当選以来、地方自治の振興・発展に寄与し、25年以上（議長職2年加算）町議会議員として勤続された功績を称え、北海道町村議会議長会会長より自治功労者表彰を受賞しました。

議会白書発行



こちらから
 ご覧ください



議会の活性化と町民福祉の向上を目的に、令和6年度の議員の活動をまとめた議会白書を発行しました。
 図書館に設置のほか、和寒町議会ホームページから閲覧できますので、ぜひご覧ください。